大正九年十二月十四日 第三種郵便物認可

新京日日新聞

夕刊

十二月十二日（月）

定價 一ヶ月 金一圓八十錢 / 一部 金五錢 ／ 新京永樂町四丁目一番地 發行所 新京日日新聞社 電話（二）二〇〇番 ／ 發行人 十河榮男 編輯人 松本啓二 印刷人 谷口郎

國際貿易の現狀に鑑み 貿易統制の强化

六十五議會に統制法案提出

〔東京十二日發國通〕我國の各輸出商品は國貨の低落と生產原價の低率といふ二大好條件に惠まれて世界の凡有る市場に濶歩する狀態となつたので、我國と競爭相手となる各國並に自國產業保護の立場にある諸國は關税障壁其他の方策により我國商品を排擊しつゝある現狀にあるので、斯る情勢を察知した中島商相は現下我國經濟情勢に照し、愈よ我國產業の全面的統制を强化せしめる一方從來消極的にのみ統制されて來つた我國の貿易に政府當業者の創意を含めしめ、貿易政策に於ても統制を强化し國家に於て貿易を管理する必要が起つた場合は斷乎法的强制力による事の必要を痛感し、之等の創意を抱藏せる貿易統制法案なるものを第六十五議會へ提出すべく決定し、貿易局に對し速かに法案要綱の完璧を期するやう嚴命した

政府の産金買上値段

〔東京十二日發國通〕政府の金買上げ値段一匁、八圓八十八錢は世界的時價に比し約五圓方低位にあるので、產金業者は之が價格引上げを屢々政府に要請し具体案を大藏當局でも考慮中であつたが、愈よ來週中に左の如き方法を以て產金買上値段の引上げを行ふ事となつた、即ち從來は弗相場を基準として買上げ値段を決定してゐたが、弗は昨今動搖甚だしく、且つ隨時買上げ値段を變更して標準となし難いので今回より之を磅建に改め、對英爲替を基準として時價より約二割下げを以て定める事にした

困窮地方救濟策に『商工貸欵』實施か

吉林省公署で考究中

〔吉林十二日發國通〕吉林省内に於る本年度の農耕貸欵資金は約四百萬元であるが、治安關係その他でこの中二百萬圓の資金流通を見たのみで他は依然中央銀行に保管されてゐる、吉林省ではこの殘餘の資金を農耕貸欵と同樣各縣の困窮せる商工業者に貸與すべく『商工貸欵』なるものを考究中であり、纏まり次第中央銀行に運用力を願出る筈であるが、之が實施の曉は治安回復期に於る消極的回復の一方策として多大の便宜を與へるものと期待される

北滿の特產 本格的に出廻る

特產の出廻りは奧地の道路漸く凍結して馬車搬出が容易になり又ドイツ關稅の對外的變化と共に歐洲向輸出が幾分緩和され樂觀材料を提供し相場も幾分漸騰氣味にある結果、鐵道沿線を始め一般荷動きは逐日殷賑を極め殊に北鐵南部沿線物殺到に新京驛の引受毎日二百餘車を下らぬ本格的出廻りを現出してゐる、即ちこれを新京鐵道事務所管内の過去五ヶ年平均の穀物輸送順數より割出した十一月上旬豫想十一萬二千噸より見れば本月上旬は五千屯の增加を見これを社線（新京事務所管內全線）に就いて見ると二萬屯の增加を見てゐる一方京圖聯絡は吉林省內肅清に依る軍事輸送のため思はしからず、豫想出廻數は半減してゐる、新京鐵道事務所管内十一月上旬の輪送トン數を擧げれば左の如し

管内社線	六六、三六〇トン
四洮聯絡	七、七九七トン
洮克聯絡	二四〇〇トン
北滿聯絡	三七、二二〇トン
京圖聯絡	五、八七五トン
合計	一一七、四九二トン
△品種別	
大豆	七七、四九四トン
高粱	五、四五六トン
玉蜀黍	六九〇トン
粟	三、七六三トン
雜穀	一〇、〇四七トン
木材	一、七九八トン
豆油	四二一トン
豆粕	五、二七八トン
其他	一二、五五〇トン

陸軍國產生系で軍服毛布作成 來年度から一齊着手

〔東京十二日發聯通〕陸軍では戰時羊毛不足とラシャの製造困難により、國產生糸を以て軍服毛布を作成する事になり來年度から一齊に着手する事となつた

四川の共產軍猖獗

〔漢口十二日發國通〕徐向前の指揮する共產軍の危險から一時小康を保つて居た四川省の要地萬縣は此の程同地北方四十哩の開縣附近に於る戰鬪で、討伐軍大敗北を招き、又向前と相通じて湖北省より入境の機を狙つてゐた賀龍共產軍が勇躍、四川省に入り既に萬縣東北六十里の地點に迫つた結果、萬縣は再び非常な危險に曝される事となつた、省當局は重慶に在る汽船を徵發陸續討伐軍を下江させて居り萬縣駐屯の英國軍艦からも兵員上陸警備に就いた

西洋威信の失墜

エドガースノー論說

イヴニングポスト紙掲載（三）

その結果は……日本を孤立せしむる各國連鎖の中最も薄弱なる環——支那——に必死の打擊を加へるに至らしめるのである

先づ第一に支那は支那領海内に日本船舶を接近ぜしめない樣に計畫するとしても日本はそれに對して武力行使の警戒なきには立至らない、日本には通商條約が嚴として存在して居るのでそれだけで充分である條約に依り安價に事なく巨額の原料を支那より積出し得るのである、又支那に於ける租界制度の妙及亞米利加歐洲と相並んで享受し得る治外法權により合法的に國際化したる支那の條約開港地を使用して日本をして拒否する外國貿易を主張し得る特權を有するのである

事の仕組は至つて簡單である日本の大製粉、銀行、製造及供給諸會社は支那各地に弘く支店を有して居る。無數の附屬せる名儀上支那人に依つて所有經營される會社を有する之等の諸會社の手を經て必要な外國貿易は行はるのである如斯不可思議極まる狀態であるからして支那は聯盟に加入して經濟的制裁を日本に施すには日本船舶を排拒し日本居留民から諸種の特權を剝奪する事に努力して丞の「ボイコット」を主張せなければ無駄である、其の効果は觀るにして悲劇的なものとなる（違ひない）油斷なき日本は在留民の生命財產の保護には其の機を捉ふるに妙を得て居る、日本は武力に訴ても條約上の權利は保護するその爲めには有つて効なき支那海軍及軍事的には絕對に無力な南京政府を又は諸種の懸案を解決する所の屈辱的な條約を以て南京政府を屈服せしむるに至るであらう

之をしも免れんと欲するならば西歐諸國は戰爭を豫期せなければならないだろう

他に可能的な一問がある西歐諸國は日本の「ボイコット」及支那條約港より再輸出貨物を完全に防ぐ爲には英國が最近兩保爭支に對して武器輸出禁止をなしたる如く差しづめ支那に對し經濟的並に商業的輸出禁止を主張すべきである、該聯國に對し最近一日本の法學博士は諷刺的に曰く何をしても日本の御氣に入りの方法はあり得まい、斯かる政策は支那に於ける外國貿易の終局を意味するものである、西洋諸國の權益總ての拋棄全外國人の撤退を必然ならしめるものである、誠に愚な話であり萬一該方法を採つたとせば日本は機を逸せず支那に必要な製品を供給して間隙を滿すならん

必要に迫られて若し武力行使敢行を偽したる時はと御茶を入れたに對して

左樣有勝の事です。事と場合に依れば支那を經濟的に救ふ爲に滿洲國の姉妹國たる第二滿洲國を支那領土內に建設するに至るかも計り難し

而して此の姉妹國に歐米のそれに勝る大市場を作ると云ふ事も想像可能である云々

實際武力以外の何物を以てしても日本を妨ぐと云ふ事は出來得ない事である

日滿悲曲

生命線を行く

（禁上演 上映）

國友雄吉

（荒川芳三郎畫）

（十五）

六年振りの都

伸一の乘つた汽車は、いよいよ東京驛に着いた。それは、午後の二時過ぎであつた。

神戸から東京まで——車窓に展開して行く故國の景色！、それはなつかしい眺めに違ひなかつたがしかし、彼の魂は既に東京の病める父の上に飛び、さすがに、旅情を味はひつゝ行くほどの餘裕は無かつた。

しかし彼の足が、一度び帝都の土を踏んで蒼々と晴れ渡つた九月の空の下。大建築の巍峨として聳ゆる丸の內一帶の、盛んなる近代スピード展觀に接した時、さすがに伸一も、六年の間に驚くべき發展をした、大東京の歩みの速さには、心の眼をみはらずに居られなかつた。

彼はすぐに自動車に乘つて、麻布林町へと命じた。

彼にはなつかしい東京の街からの街であつた。車は、まつしぐらに走つた。そしてその街の風景が、さまざまの想ひ出を彼の胸に湧かせた。しかし伸一は、「父は、どんなに窶れてゐるだらう」とか「突然歸つて來たので、家の者はどんなに驚くだらう」とか、只そんなことばかり考へつゞけながら、車は、夢の世界を、押し分けてゞも行くかのやうに思はれた。

やがて車は、彼を彼の家の門前に運んだ。

伸一は、愛でも亦、驚きの眼をみはつたのであつた。我が家は、いつの間にやら改築されて、少しも、六年以前の面影を留めないまでに、堂々たる全貌を整へて、彼を待ちうけてゐたからであつた。

「民家さんは、非常に幸運なお方で、最近までに、目覺ましい御成功をなすつた——」と、この間、滿洲里で聞いた黑澤の話を、今更思ひ出さずには居られなかつた。

車を降りた彼は、まるで雲の上でも蹈つて居るやうに、胸も足もわくわくさせながら、玄關の方へ進んだ。

しかし、邸内は、靜まり返つて、シンとして居つた。誰も、人の出て來るやうな氣配もなかつた。伸一は、

「いやに、靜かだなあ——」と思つた。

さう思つたら、その靜けさの中に、なにか凶兆でも漂つてゐるやうな氣がして、父の安否が一倍心配になつて來た。同時に不安が彼の胸を冷たくサツと走つた。

その時であつた。玄關脇の通ひ口から、六十ぐらゐの實直らしい老人が、使ひにでも行くやうな風をして出て來た。そしてトランクを提げて、はいつて來た伸一と、バツタリ出會ふと、老人は、眼をパチパチさせた。

それはズット以前、伸一のまだ少年時代から出入をしてゐる、淺造といふ老人であつた。

「あ、淺造！」

伸一は、思はず聲をはずませた。

老人は、それでもまだ、眼をパチクリさせるばかりだつた。

「僕だよ。——伸一だよ」

淺造老人は、彈かれたやうに、グツト顏を振りあげて、一倍大きく眼をみはつた。

「えツ、伸一さん——？　あツ、さうだ。伸一さん——！」

老人は、我を忘れた聲で、彼の名を呼びながら、喜びとも、悲しみとも、どつち付かずの表情をした。

その時、その老人の叫びを聞きつけて、飛び出して來たのは、弟の久彌であつた。

「あツ！兄さん！」

「久彌！」

久彌はいきなり、伸一の手首を、力一ぱい握りしめて、グングンと強く引つぱつた。

「兄さん！、早くお父さんが、どんなに待つて居るでせう」

あまりの嬉しさに、久彌はもう狼狽へてしまつてゐた。玄關へ行くべきを忘れて、もとの通ひ口から、お勝手の方へ引つぱつて行かうとした。

淺造老人も、只だらろくくするばかりだつた。

御追憶の涙も新たに 朝香宮妃御葬儀

（東京十二日發國通）故朝香宮允子內親王殿下の御葬儀は初冬の氣冷たき十二日芝白金臺町の御殿及豐島岡御墓所に於いて御追憶の涙も新たに行はせられた

天皇陛下親しく御座所にて 默禱を捧げらる

（東京十二日發國通）天皇陛下には十二日御叔母宮朝香宮妃允子內親王殿下の御葬儀を行はせらるゝに就き曩に廢朝仰せ出され給ひしに依り本日は終日總ての朝儀を始め御行事を廢させ給ひ、御靈車御發輦及び御靈葬の儀の御時刻には御座所に於て御默禱遊ばされ內親王殿下を御追悼遊ばされたが、皇后陛下並に大宮御所に在す皇太后陛下にお かせられてもそれぞれ、御座所に於て御默禱遊ばされ御哀悼の意を表させられた

畏し 勅使御差遣 故上原元帥の功勞を嘉し給ひ

（東京十一日發國通）陛下には上原元帥の功勞を嘉し給ひ午前十一時勅使として小出侍從を御差遣、優渥なる御沙汰を賜つた

第二次補充計畫貫徹に 全國民に呼びかく 一九三六年危險線突破に 海軍當局の意氣

（東京十二日發國通）ロンドン軍縮條約による海軍第二次補充計畫は目下大藏當局の手中にあつて査定中であるが、海軍當局は英米の增艦計畫及び豫期される國際情勢の變化に處するためにはあくまで原案通りの承認を要望し、若し財政當局が不當なる査定を加へるが如き事あれば、全海軍は大角海相を支持してその主張の貫徹に邁進せんとする氣勢を示し、先づ軍事普及部の日比野少將、關根大佐は殆んど寧日なく全國を講演行脚してゐる、海軍が豫算問題に關し斯くも積極的に國民に呼びかけてゐるのは未だ前例なく來るべき一九三六年の危險線突破のため非常な意氣込みである、而してその說く處の理由は大体次の通りである

一、主力艦 日、英、米は終始五、五、三の比率を保持してゐるが英米兩國は大部分の改裝を終り備砲の仰角を引き上げ速力防禦力の增加等武裝は一變してゐる

二、米國が新艦二隻を加へることによつて日英兩國に對し斷然優勢となり我國の對米比率は五割二分に低下する

三、甲級巡洋艦 日英兩國とも既に條約規定量を完成保有するに反し米國は條約規定量に達すべく目下着々建造中である、故にロンドン會議後年を追ふに從ひ米國はその勢力を增加し昭和十一年には日英兩國を凌駕するに至る、よつて乙級巡洋艦日英兩國はロンドン會議當時米國に對し優勢なりしも昭和十一年以降は對米八割內外の勢力に低下する

四、驅逐艦 ロンドン會議當時米國は多數の驅逐艦を保有し著しく優勢にありたるも其の大部分は歐洲大戰中の急造に屬し十一年迄には全部更新されるであらう

五、潜水艦 ロンドン會議當時我國は自主的所要量たる約七萬八千噸を保有し爾後引續き更新を圖り勢力を維持し來るも十一年迄には有力なる相當多數の潜水艦を廢棄し條約規定通り五萬二千噸となさざるべからず、之が補充のためには多數の制限以外の船舶を必要とする

六、航空兵力 海軍航空兵力の充實に關しては、ロンドン會議直後新に補充計畫として陸上十四隊の增設を認められ、現に之が實行中である、之を既設の十七隊と合算しても總數は四百七十餘機に過ぎず、若しそれ艦隊航空兵力たる母艦、軍艦搭載機數に至つては百五、六十機を保有するのみ、之を米國の勢力に比すればその半數に達せず、この補充は眞に緊急である

滿鐵辭令

新京販賣事務所現業助手　河西松之介
雇員

事務員を命す
新京倉庫事務助手　甲傭　吉田　文雄
新京倉庫現業助手　甲傭　森四　郎吉
同　大貫德太郎
雇員を命す

呆れかへつた ソ聯の大デマ 軍艦擊沈飛行機射落說に 外務當局の意見

（東京十二日發國通）軍艦擊破と日本飛行機射落說に對し外務當局は左の意見を發表した

斯る報道は一顧の價値もない、誤り傳へられる事實も全然存在せぬ、革命記念夜會に太田大使が缺席したこと種々傳へられるがこれは或る方面の爲にする宣傳だ、嚴重な檢閱制度を有するロシアから斯る電報の頻發されるのは、其眞意が那邊に在るか注意すべきだ

デマの內容

（モスクワ十一日發國通）政府自身でない消息筋への入電に依れば、三日日本飛行隊がソヴィエート領內に侵入し九機中六機がソヴィエート國防軍に射落された、日本飛行士廿名以上は死亡し、又はソヴィエート側に逮捕されたと信ぜられると

（東京十二日發國通）米ソ國交恢復會商の進展に伴ひ之をソ側に極力有利に導かんとするソ側の對內對外苦肉策は愈よ露骨となり日本軍飛行機の國境侵入或はカムチャツカ方面に於る我補助艦艇の領海侵入擊沈說等極端なるデマを頻々として飛ばしつゝあるが又復十一日モスクワ電は別項の如き笑ふ可きデマを撒いてゐるが流石に「政府自身では無い消息筋への入電」と苦しい冒頭を附して自らデマなる事を裏書してゐるのも面白い

田中光顯伯 內大臣廢止論を提げて入京

（東京十二日發國通）昨年夏一木前宮相に重大なる進言をなし宮中關係、政界方面に一大衝動を與へた田中光顯伯は十一日午後五時東京驛着、驛頭には「昭和維新斷乎奸賊一掃」と墨拔きした白襷嚴の右翼團体百餘名の歡呼裡に入京したが九十三歲の老軀乍ら昂然と記者團に內大臣廢止論を一時間餘に亙つて述べて曰く

維新前迄は內大臣があつたが維新後なくなつた、それが明治十八年、大御心を以て三條內大臣を任命した、又今日では既に宮內大臣あり、侍從長あり、國務大臣あつて輔弼の大任を果してゐる以上內大臣は置かなくともよい、今上陛下には允文允武に在しますが故左樣に多く輔弼者が常侍する必要もないと思ふ、仍て余は昔から內大臣廢止論者であつたが今の時勢を見て殊更之を痛感する

久原氏の皇道經濟諸成案 近く天下に發表せん

（東京十二日發國通）軍國一致論を提唱して政界獨步の旗幟を鮮明ならしめてゐた政友會の惑星久原房之助氏は今日非常時日本の大改作國家改造綱領として三位一体政策を根幹とする皇道經濟論を確立、成案を得るに至つたので近く天下に發表すことになつた右皇道經濟論は日本策と世界策とに分れ共に日本と世界の繁榮を招來せんとするものであつて、新經濟策は理論と實際に則しての具体方策を提起するもので國家改造、政黨の更生に全面的動搖を來しつゝある現下の政界及び政黨內に大きなセンセイションを捲起すものであらう

日ウ商業會議所創設

（東京十二日發國通）ウルガイの首府モンテビデオに半官的な日本ウルガイ商業會議所が創設された、政府系の銀行會社を網羅せる有力機關で日ウ貿易上この機關の活動は大いに期待されてゐる

北鐵の標準時も 滿鐵と同じに ハルビン滿鐵事務所長から 北鐵當局へ交涉

北鐵南部線新京驛と滿鐵新京驛とは從來兩者の標準時を異にしてゐた關係上から三分乃至五分の時差を生じこれがため早發列車に乗り遲れる旅客が屢々にしてあり非常に迷惑を感じてゐたに鑑み滿鐵ハルビン鐵道事務所から北鐵管理局長宛に滿鐵新京驛の時刻と同一時刻に北鐵新京驛もするやう交涉方を申し出た

最後案提示後 日本の落着に反し印度側焦慮 十三、四日頃再開か

（デリー十二日發國通）去る九日の本會議に於て棉花數量及び綿布品種別に關する我が最後案提示は條約關明となるので日本が讓步し來るものと多寡を括つた印度側には將に晴天の霹靂であつたものゝ如く可成り狼狽の模樣で日本が落着いてゐるのに反し連日協議中の模樣であるが印度側の報導によれば印度は議會を前に解決を急ぎ居り十三、四日頃には交涉再開の運びとなり印度側がその態度を表明する筈であると云はれてゐるが印度が如何なる態度を示すか豫測を許さぬも今に至つて會議を決裂させるが如き態度は示し得ぬ模樣故今週中には大体の輪廓が決るものと見られてゐる

尙最近印度各地にある邦人貿易者の支店等より代表部に集つた情報によれば九月以來七割五分關稅賦課の影響で日本綿布の輸入なきため日本綿布を專門に取扱つた印度商人は營業不能となり諦約、本綿布を諦め印度紡績の製品扱ひを始めた事實多いとの事であるが之は印度市場に於ける日本綿布の將來について見逃がし得ぬ現象として成行に深甚の注目が拂はれてゐる

モトロフの 對日挑戰演說 北滿ソ聯人に對し 一大ショックを與ふ

（ハルビン十一日發國通）ソヴィエート人民委員會議長モトロフ氏の對日挑戰的言辭の報道が國通東京電報によつて一度北滿に報道されるや、ハルビンの內外人は今や種々の議論に花を咲かせてゐるが、白系露字新聞は右報道を特筆大書する一方、北鐵ソ聯側要人は無氣味な沈默を守り中には從來北鐵に働くと共に市中で副業として合辨の形式で旅館業に投資してゐた者又はその他の副業に手を出してゐたソ聯北鐵職員は急に投資の回收に着手し、或は家財を賣拂つてホテル生活に轉じ、本國に歸還するを欲せず北鐵交涉の成立の上は南支方面に向はんと暗々裡にその下準備に着手してゐる者もある、又北滿に於ける共產黨細胞で暗中飛躍してゐたスチパンチョノクは養子とした支那人の子息妻女を同伴してこの程ザバ イカルの知多に歸り更に元寬城子の機關庫長であつたヤコヴェンコも家族を引具し米、砂糖、麥粉、バタ等多量の食糧品を一貨車に積込んでハルビン發本國に歸還した、尙モロトフ氏の聲明、北滿のソ聯人にも多大のセンセーションを與へてゐる

滿鐵改組問題に關する 拓務省の發表 根本的改革を必要とせず

（東京十二日發國通）拓務省發表＝滿鐵改組問題に就ては八億圓に增資後時局の情況は改革必要とするが如く變化すると意見一致し單に嚴正な管理機關と合體參與の機關を設置、滿鐵事務の圓滿なる遂行を監視し、且つ滿洲開發に資せんとしてゐる、今回の改革は嚀丈けで株價暴落し發行社債の賣行不振で滿鐵の事業施行上に重大支障を與へてゐる、此際左の如き在滿機關の命令機關改革が必要だ

一、在滿機關の統制上武官文官系統の區別を劃然と分つ

一、文官の命令系統は關東廳を母体とする行政組織を基礎とし、三位一体の現制度に於て更に文官制度の機關を設置する

國交險惡說と 某國の發する謠言內容

（北平十一日發國通）北平より各方面に對し日ソ國交險惡に關する通信をなしつゝある實情に就いて我武官室方面では荒唐無稽も甚だしいと一笑に附し

之は某國側の宣傳に依るものであつて事實は何より明確に證據立てゝるであらう故に此の種の情報も時日の經過と共に判明するに決つて居るから敢えて反駁する必要もない

と語つた、尙該通信の槪要は次の如きものである

一、關東軍が長城以北の地に撤退し各口を支那側に返還したのは對ソ戰準備の爲兵力の北滿集中を企圖したからである

二、關東軍は北滿の車馬を徵發、軍夫の募集を開始した

三、滿洲國官吏と稱し多數の在鄕軍人が日本內地から■られて居る

四、滿洲里、ポグラニチナヤに於て日ソ兩軍間に小衝突があつた

五、ソ聯邦はウラヂオに於て潜水艦十二隻の艤裝を終つたが、又ブラゴエスチエンスク以東の黑龍、沿海兩州のソ聯兵力は步兵八師騎兵二師、戰車三百、飛行機一千數百臺あり出動準備完了したと

對滿重大性に鑑み ソ聯出先官憲の更迭を斷行

（滿洲里十一日發國通）ソ聯政府は對滿外交の重大性に鑑み極東通の前ハルビン總領事メリニコフ氏を拔擢して之に當らしめる事になり、その下にブラゴエとチタに外務人民委員會支部を新設し、一方在滿領事館刷新を決意しポグラニチナヤ領事イエゴーロフ氏をエラマン氏を任命し、チチハル領事トリオピアンスキー氏はクズチフオフ氏と更迭された

休戰記念日に 米陸軍次官 軍擴を主張

（シカゴ十一日發國通）アメリカ陸軍次官ウッドリング氏は十一日の休戰記念日に際し米國陸軍は海軍と同樣他國の侵略に對し、充分成算ある軍備擴充をせねばならぬと主張し注目を惹いた

東株が商工省へ提案する 東株整理案內容

（東京十一日發國通）東株より商工省に近日提案の東株整理案は左の如くである

一、來月二日滿期となる諸計算差金未納額百九十萬圓取立は商工省の既定方針通り敢行する

一、マラソン金融其他の缺陷除去のためには左の方法をとる

（甲）實株市場の附帶業務として資本金二百萬圓の證券金融會社設立

（乙）右成立後同會社の株を東株に合併第二新東として上場

（丙）右新株募集により生ずる六百萬圓でマラソン金融の整理資金とす

商工省當局は東株更生に役立てば認容するであらうが、松屋僞造株問題の取調べ擴大如何では岡崎理事長以下理事者の總辭職を勸告するものと觀らる

陸軍異動豫想

（東京十二日發國通）陸軍定期異動は關東軍の一部充實增員の關係上十二月一日附發令される筈であるが、人事局に於ける詮衡が遲延し未だ三長官の審議を開くに至らないため關東軍關係以外の異動は十二月中旬頃發令される事になるのではないかと觀られてゐる、而して去る八月の定期異動に於ては將官級の異動が小範圍に留つたので、今回の異動に於ては將官級に相當廣範圍に亙る異動行がはれるのではないかと豫想されるが、滿洲に出動中の者に對し異動を行ふ事は至難であるため、今回の異動に於ても師團長の異動は二、三に留まる模樣であり部長としては

教育總監部本部長、中將　香椎　浩平
關東軍參謀長、中將　小磯　國昭
教育總監部附、中將　瀨川　章友
同　林　桂
支那駐屯軍司令官、中將　中村孝太郎

の各中將から親補されるものと觀られ、之に伴ひ旅團長其他將官級は相當の廣範圍の異動が行はれる筈であるが、將官級の進級は大体次の如く觀られて居る

中將進級

重砲兵學校長、少將　時乘　壽
科學硏究所長、少將　久村　種樹
參謀本部總務部長、少將　橋本虎之助
工兵學校長、少將　佐村　益雄
臺灣軍參謀長、少將　大塚堅之助
士官學校幹事、少將　末松　茂治
第一師團司令部附、少將　宇佐美興屋

尙ほ關東軍司令部附步兵大佐鈴官淨氏は少將に進級される事になつて居る

人事往來

▲岡村少將（關東軍參謀副長）十二日午前七時着北支から
▲中野海軍中將（帝國在鄕軍人會副會長）同上吳から
▲岡田一等兵曹以下四十五名（松花江臨時防備隊駐滿海軍部交代兵）同上卅六名同日午前八時四十分發哈市へ
▲志摩中佐（駐滿海軍部參謀）十二日午前八時四十分發哈市へ
▲瀨川中佐（國路總局顧問）同上
▲伊藤大佐（駐滿海軍部）同上
▲チェング氏（英國大連領事）同上
▲ペイエンス、デーセーセル男（佛國通信社特派員）同上
▲毛利二等軍醫正（錦州衛戍病院）十二日午前九時發錦州へ
▲永沼中將（豫備後）十二日午前九時發范家屯へ
▲平上等兵以下十名（內地還送患者）十二日午前十一時三十分發大連へ
▲馬場中佐（新京憲兵隊長）十二日午後四時着吉林から
▲遠藤中佐（關東軍參謀）十二日午後七時三十分着奉天から
▲山村中佐（獨立守備隊司令部參謀）同上
▲日下辰太氏（關東廳內務局長）十三日午前七時着大連から
▲芳賀千代太氏（新京鐵道事務所長）同上着任
▲トルカチョフ氏（ソ聯奉天領事館員）十三日午前八時四十分發哈市へ
▲張亞東氏（北鐵新京代表）同上
▲酒井榮藏氏（正義團々長）同上
▲原田大佐（關東軍第一課長）十三日午前九時發內地へ
▲久留米少佐（獨立守備隊司令部）十三日午前七時着奉天から
▲朽木忠雄氏（哈市特別市政公署事務官）十三日午前八時四十分發哈市へ
▲グリーユン氏（トーマス、クック社極東支配人）同上
▲宮本貞一氏（朝鮮總督府事務官）十三日ハドで京城へ
▲小日山直登氏（前滿鐵理事）滯京中のところ十三日午十一時三十五分飛行機で赴哈

團体

▲東西合同歌舞伎團五十一名十三日來京十九日午前八時四十分發哈市へ

經濟欄

海外經濟

▲銀塊及爲替

倫敦銀塊　一八片八分三
同　遠限　一八片三分一
紐育銀塊　四三弗八分七
孟買銀塊　五六留比二六分九
米英爲替　五弗〇九仙八分五
米日爲替　三〇弗三一仙
米支爲替　三三弗七五仙
スチール株　四三弗四分一
アナゴンダ株　一五弗八分七

現物　十二月限　一月限　三月限　五月限　七月限　十月限
10仙〇五　九仙八三　九仙九二　10仙〇五　10仙一九　10仙四　10仙三

▲上海標金

本寄　七三五〇〇　七三七〇〇　七三三五〇　七三二〇〇
歩値　七三五〇〇　七三三〇〇　七三二五〇

▲上海日本向

第一回　一〇八五〇〇
第二回　一〇八七五〇
第三回　一〇九二五〇

▲上海倫敦向

賣值　一志三片一六分七
買值　一志三片三分一

▲上海紐育向

賣值　三三弗八分七
買值　三三弗一六分一五

▲大連金鈔票

現物　二二四五〇　二二一九〇〇
十一月二十七日限　十一月十三日限
寄付　二二六五〇
歩値　一九〇〇　一七五〇
出

各地市場

▲大阪株式

大株　一三七七〇　一三七七〇
大新株　一三四六〇　一三四九〇
同紡新　一二四七八〇　一二四七六〇
鐘紡新　一三〇二〇　一三〇六〇

▲同短期

大株新　一三三〇〇　一三三〇〇
鐘紡新　一四〇〇〇　一三九三〇
東新　二〇一〇〇　二〇一〇〇

▲大連株式

當先　三六一〇　三六一〇
五品新　三六一〇　三六一〇
錢鈔　—　—

▲大阪三品

當限　三三六六〇　三三六六〇
十二月限　三三三五〇　三三三九〇
一月限　三三六九〇　三三七三〇
二月限　二八五〇　二九五〇
三月限　三三三〇〇　三三三一〇
四月限　二〇八〇〇　二〇八九〇
先限　二〇六九〇　二〇七〇〇

▲大阪棉花

當限　三六〇三〇　三六〇三五
先限　三五三二五　三五三六〇

新京市況

糧豆現物

特產　大豆　九、六〇　出來 十二車
高粱　四、〇〇　四車
小豆　二、三〇　三車
包米　五、六〇　二車

同先物　十一月限

大豆錢鈔　—　—

鈔票對金票　二二、七〇錢
現大洋對金票　一〇八、〇〇錢
國幣對金票　一〇七、八〇一
現大洋對鈔票　九六、七〇

▲阪神日米爲替

第一回　二九四分一　三〇八分一

▲大連煙台向

九七四五〇　九七四二五　九七四七五　九七六〇〇　九七一〇〇　九七〇五〇　九七〇七五　九七〇二五

▲大連上海向

引　高值　安值　出來
一八三五（一九三五）　一三〇〇〇　一九七五　二三五〇　二三〇〇　一六〇五〇　二三二五
不申

スケーター押寄せ早くも大賑ひ
でもまだ危いと社會係監視人づきで警戒

今年もいよいよ冬に入つた、この數日一寸暖かい感じはするがそれでも西公園譚月池の氷がすつかり張られて待ちかねたスケーターが早くも殺到十三日の早朝なんぞは大人も子供も數十名が一緒になつて大喜び

『輕快』なスケート振りを見せてゐた、まだ氷結は三四寸程度で充分とはいへないが何分今年は水飢饉のため池の水量も例年に較べてずつと少く從つて危險も尠ないとはファン諸君の言ひ分だが當の地方事務所社會係では直ちに實地調査するとともに萬一を憂慮し十三日から監視人を附して警戒に當ることになつた、右について高橋社會係員は左の如く語る

何分スケーターに取つて待ちこがれてゐることとて一寸凍りかけると出かけるがそれは一番危險だ水量が少いといつても相當深いのだから若しも

『落込』みでもすることであれば凍り死んで終ふよりほかない、一人二人で滑るには差支ないとしてもいよいよ正式に開場するとなれば多數の人間が一度に出かけるのだから萬一の危險ない程度になつてでなければいけない、けふ十三日から專門の係員が出かけてよく調査して見た上でいよいよ危險がないとあればけふからでも一般のために開放したいと思ふが、調査の結果が判明するまでは是非耐へて貰ひたい、今暫くの間辛抱だからと注意してゐる……

芳賀新鐵道事務所長 元氣で着任
古巣へ歸つた氣持ちとほがらかに語る

芳賀新新京鐵道事務所長は十三日午前七時着任、直ちに新京驛階上所長室におさまり新舊所長事務引繼ぎをなし午前九時四十分から鐵道事務所々員を集め新舊所長の挨拶あつた、十三日は新舊所長打ち連れ市中關係各所に挨拶廻りをなした、なほ十四、五、六の三日間に亘り新所長は管下各驛の初巡視をなし十七日午後六時半からヤマトホテルで關係者百餘名を招待し披露の宴を張るはず、芳賀所長を所長室に訪へば「今事務の引繼ぎを終つた處ですこれから早速挨拶廻りに出掛けやうとしてゐたところです」とて次の如く語つた

來たばかりで抱負も何も持つてない、自分は五年前こちらには運轉長として厄介になつてゐたしこんどで新京は三回目です、當時の長春と今の大滿洲國首都新京とはあらゆる點で趣きを異にしてゐるが古巣に歸つてなつかしい感がします、滿木先輩のやうな名所長の後を引受けて果して完全に仕事が出來るかどうかを心配してゐる、自分は一介の技術家であるから昔馴染として皆さんの御鞭韃を得て何とか圓滿に事務を遂行して行きたい、知人も市にある筈だから貴社を通じてよろしくお傳へ下さいと仲々謙遜して多く語らなかつた

着任所感
新京實業補習學校長 辻松太郎氏談

一、聞きしに勝る、そして予想以上の發展振に驚きました

二、市中の活氣横溢せる所、全く世界一好景氣だと感じました

三、各方面へ御挨拶に上りましたが、何れも熱と意氣と力とを以てお働きの樣に見受致しました發展途上にある新興都市に最も相應しい情景だと感じました

四、各方面の人士が極めて和やかに、親しみ易い態度を持されてゐることを非常に愉快に感じました大都市の最も忌むべき缺點を完全に除去されてゐることは何よりも嬉しいことです

五、青訓生が夜遲くまで然かも極めて愉快に極めて俊敏に御世話下さつた態度はともすれば勤勞を回避しやうとする現代に於て又最も嬉しいことでした

街の日記

妓女阿片を吞む

十三日午前零時ごろ大和通十八番地料理店東群仙方抱へ妓女任紫霞（一八）はビールに阿片を混じ多量に服用し苦悶中を家人が發見し大同醫院に收容應急手當の結果一命は取止めた、原因は目下新京署で取調べ中である

食道樂『花本』けふ開業

永樂町二丁目の純江戸前料理を專門とする食道樂花本は店舖階上階下の設備も愈よ出來あがり本日より開業の運となつた、理理人は東京仕込みの者にて、庖丁のさへは素晴しくその味覺は大好評を博すであらう

向陽ホテル開業

既報市内大和通り新築の向陽ホテルは十日から開業したが至れり盡せりの設備は新京ヤマトホテルに次ぐとの噂の通り完備したもので新京へ來て泊る旅行者の不平も緩和されるであらう

拾ひもの

▲露月町三丁目五十六番地川上ツルさんは十一日午後一時ごろ西廣場で一圓を拾つた

▲祝町二丁目十一ノ四大谷龜太郎氏は八日午後五時ごろ客馬車上で黑鞄製手袋を拾つた

▲八島通河野滿二氏は十二日午後一時廿分ごろ東二條通と曙町交叉點でハンドバツク一個在中廿三錢を拾つた

▲日之出町三丁目同和クラブ今村富美子さんは十二日午後二時三十分客馬車上で紙包一個在中味付ノリ時價二圓八十錢を拾つた

落しもの

▲蓬萊町一丁目十九番地松崎義廣氏は十一日午後八時ごろ自宅から長春座前に行く途中黑革製シース一個在中現金三十二圓を落した

▲大和通二十番地料理店蓮香班牛杏春氏は十一日午前十時三十分ごろ滿洲國幣三圓を日本橋通五十一番先き路上に落した

▲日之出町三丁目同和クラブ今村富美子さんは十二日午後二時ごろ羽衣町二丁目附近でハンドバツク一個在中口紅塵紙本人の名刺を落した

▲永樂町崔保卿氏は毛布一枚時價二十圓を十二日午後四時ごろ梅ケ枝町から驛に行く途中馬車上に忘れた

▲大和通三十一番地松本登氏は十日午前十一時三十分ごろ吉野町市場から衛戍病院に行く途中羅紗製財布一個在中三十五圓余を落した

盜難屆

▲曙町二丁目一番地御村力氏方黑田武郎氏所有自轉車一台時價三十圓を十二日午前十一時ごろ自宅前で竊取された

▲日本橋通川八番地料亭大和館内藝名松子こと朴敬蓮さんは十三日午前零時三十分ごろ何者が侵入し金側時計一個七型時價十五圓を竊取された

滿洲國官吏の健康測定

市公署教育課及び體育協會協力のもとに滿洲國官吏全員の健康測定を行ひ統計をとることになり晝休みの時間を利用して總長さんからタイピスト孃に至る迄測定した（寫眞は民政部にて測定してゐる所）

面白いやうに匪馬賊を逮捕
新京署近頃の活動

新京署司法係では倉田司法主任指揮の下に刑事隊は不眠不休の大活動を續け續々新京附屬地に潜入する匪馬賊團を片端から檢擧し各刑事隊とも殊勳をたててゐる、十三日午前四時ごろ池水刑事隊は賊團が鐵道北に潜入してゐるを探知し疾風迅雷的に匪家を襲ひ河北省生れ李國臣（四〇）同上劉儉（二六）の二名を逮捕しモーゼル一號二挺、實彈六十發を押取した、引續き共犯を搜査中である

殉職した 橋川看護長經歷

新京衛戍病院附陸軍三等看護長橋川勇作氏は十月十五日衛生材料宰領の爲哈爾賓に出張し同十七日腸チフスに罹り哈爾賓衛戍病院に入院加療中の處十一月十一日午前二時三十分同院に於て死去遺骨は十一月十三日午後三時二十五分新京驛着の豫定追而告別式は十一月十四日午後三時より新京高等女學校講堂に於て施行される、因に同氏の經歷は

勇作氏は横川作太郎氏長男に生れて、小學校在學當時から常に首席を占め、卒業後は鄕黨の模範青年として風評高く、入營以來頗る精勵恪勤し、看護兵教育は優秀なる成績を以て修め、滿洲事變勃發以來、鐵嶺衛戍病院長春分院續いて現新京衛戍病院に屬し、戰傷病者の收容、看護、衛生材料整備及び調劑衛生業務等に從事し、寢食を忘れて日夜勤務に精勵す、本年九月綏安地方に「ペスト」が流行して防疫班の出動を見た時進でこれに加はり克く其の任務を完うした昭和八年十月十五日衛生材料宰領の爲哈爾賓に出張中腸「チフス」に罹り十一月十一日午前二時三十分哈爾賓衛戍病院に逝く、性質溫厚篤實、敏捷明朗、責任觀念に厚く所命の業務は身命を賭して遂行し、模範看護兵として表彰せられたことは數次であり、上下の信望を一身に集め、敬愛の的となつてゐた、生來多趣味で器用で特に運動競技に巧にして其の野球技倆は一際目立つて鮮かなものがあつた

國都建設局が附屬地へ給水
千トンだけ話纏る

新京の第四水源地計畫も漸く進捗し、内地へ注文中のポンプ其他の材料關係さへ整へばいつ何時でも給水出來る程度になつたが、地方事務所ではなほこれでも充分とせず國都建設局の計畫に成る總水量三千トンの

『一部』を割いて貰ふことゝし千トンを讓り受けることとなり一兩日中にまづそのうちの二、三百トンだけは給水されることになつたがこの分は滿鐵の新代用社宅方面に用ひられることになつてゐる、これで既設三千トン、第四水源地三千百トン、工業用水二千トン、市政公署から二百トン、建設局から千トン、それに鐵道給水六百トンが浮んで來る勘定になるので飲料用水だけでも悠に七千四百トンとなり

『人口』に當てはめて七萬四千人が養はれることになつた、目下の給水狀態は五千トン内外であるが右諸計畫は遲くも本年中には實施される見込である

惡使用人捕はる

大分縣生れ市内中央通廿六番地東亞土木會社使用人樋口弘久（一八）は十一日正午ごろ滿洲銀行新京支店拂出しの小切手千六百七十八圓六十錢を竊取し市内大和通十一番地田中佐市氏名義で拂出し逃走してゐるを社員が發見し直に新京署に屆出た、同署で犯人捜査の結果カフエー亞細亞、銀座ダンスホール等で遊興し十二日午後二時ごろ再び亞細亞に立廻つたところを新京署井上池水兩刑事に逮捕された

ゼーヤ河上流の
滿洲國砂金苦力歸國出來ず

〔チチハル十二日發國通〕從來滿洲よりソ聯への出稼苦力に對しては黑河辨事處の發行する護照により、ソ聯はこれを承認して入國を許可し、この勞働者歸國に際してはソ聯より出國證明書を交付してゐた辨事處廢止後も愛琿縣公署に於て同樣の手續きを執り既に入國せる者五百名に達し之等の勞働者はゼーヤ河上流地方に於て砂金採取に從事してゐたが最近賃金の低廉とソ聯官憲の壓迫に堪へず百五十名は歸國すべくブラゴエに到着し、ソ聯當局に出國證明書の下附を願出たが、出稼中の勞働地居住地が不明等の理由で證明書を下附しないので目下ブラゴエ滿洲國領事館はこれに對し折衝中である

山陽線で 列車大追突

〔大阪十三日發國通〕十二日午後九時二分鳥羽發姫路行き四四七五號快速列車が寶殿曾根間で機關車の故障のため阿彌陀村魚橋地内に停車し居る所へ吹田發下關行き一五五貨物列車が驀進し來り大追突を演じ三等車体を大破し食堂車は脱線傾斜し乘客十數名重輕傷者を出した

櫻田烈士の寄書を見る樣だ
田中伯海軍被告の寄書に感激

〔東京十二日發國通〕五、一五事件海軍被告の寄書の傳達方を委託された林逸郎辯護士が之を田中光顯伯に渡した、田中翁は非常に喜び櫻田烈士の寄書を見る樣だと云つて即座に筆をとつて色紙に和歌を認め、之を渡して呉れと林辯護士に依賴した

大川周明氏所信を披瀝
「道德的には正當だ」

〔東京十一日發國通〕五、一五事件民間側被告の公判は續行中だが本日大川周明の審理を終つた、大川は本日の公判で現在の心境並に五、一五事件に關する所信を問はれたるに對し

別に現在どうと云ふ特別な考へもありませんが本件に就いて考へるに非常時に於いては暴力と言ふが如き非常手段も亦已むを得ないものと考へる、これ等の本件計畫の動機の純なることは謂ふ迄もない、然しその結果が如何なるものであつたかは現在刑務所に居るので判然としないが財閥、特權階級、政黨に對しても異常な衝動を與へ覺醒を促した事は想像し得られる、故に例へ被告等の行爲は法律的には罪になるとしても動機並に結果よりして道德的には全く正當にして是認さるべき事と考へると簡單であるが力強く所信を披瀝した

大連山縣通りの大火

〔大連十二日發國通〕十二日午後七時半頃市内山縣通七七番地の某家の二階に居住せる滿人辛永儀方より發火し、火の廻り意外に早く發見した時は既に邊り一面火の海と化し居り手のつけ様なく、急報により大連全市消防隊馳け付け消火に努めたる結果、同八時十分に至り十餘戸を全燒して漸く鎭火した、附近には商工會議所、中國銀行、青年會館等の大建築物多數あり、又宵の口の事とて彌次馬が黑山の如く集り一時は大混雜を呈した、尚損害並びに原因に就ては大連署に關係者を召致し目下嚴重取調中である

合同歌舞伎三巨頭

中山延見子、市川海老十郎、嵐三五郎、を中心とする東西合同名題大歌舞伎はいよいよ來る十五日午後三時開場同三時半開演となつたが舊劇愛好家の期待は豫想外にすばらしいもので十二日から前賣割引券を賣始めたところ待ち兼ねたやうに景氣のいゝ賣行きを示してゐるさうで一行の來演に衣裳小道具まで一切新調のものを用ひるので長春座の方も之に敗けをとらぬやう大道具その他の修繕や新調に晝夜兼行い近來稀な活氣を呈してゐる初日藝題その他は本紙一面廣告欄にある通り充實したものである、團体豫約の大口で確定したものは中央銀行の一團で花柳界方面がまた一座の開演中に公休日をふり替へて總見しやうなど寄々協議中とあり、愈よ當日となつたら賑かなことであらう、寫眞は初日にお目見得だんまりに白浪お仙、心中女舞衣の三勝、大切の紅葉の更科姫に扮する中山延見子、同夜叉五郎、二番目の盛綱、三番目の八右衛門、大切の維茂に扮す市川海老十郎、同金剛太郎三番目の半七に扮する嵐三五郎

兵士ホーム慰問團
京圖沿線部隊慰問に

兵士ホーム慰問團は曩に京圖線を殘し全滿各鐵道沿線兵士の慰問を爲し多大の好評を博したが、今回は殘りの京圖線沿線部隊を慰問のため十日間の豫定で來る十三日頃新京出發慰問の途に就くことになつた因に右慰問團一行の氏名左の如し

橋本兵隊婆さん
赤木トキワ女史
濱田ヨウ子女史
岩坂ヤス子女史
下徳マツノ女史

慶安異聞 艶魔地獄

（輸上演映畫化）

玉水三郎
（畫）長谷川小信

（九十）

肝腑りの耳（十）

「遠からん者は音にも聞け、近くは寄つて目にも見よ。吾こそは戰國生殘りの豪傑にして、當時雲州松江の城主、松平出羽守客分として、浪人の身分を其儘遊んで居る深見重左衛門貞國、我生國は九洲肥前、年齢は今が五十三歳の武藝者盛り……何うだ同心大瀬道十郎驚いたか」

大變な長い名乘方だが、其名は世に聞え渡る程に豪傑。道十郎よりも目明し共が縮み上つた。

道十郎改めて一禮。

「コレハ〳〵雷名は豫て承はり及ぶ、深見重左衛門先生でござつたか。それとは存ぜず、唯今の御無禮平に御容赦に預かりたう存じまする」

低頭平身した。遠くの方の母家では、慶犬權兵衛が之を見てお八重に向ひ、

「何うだ、面白くなつて來たらうがな。同心め嫩に相手を支へて、先生に謝まつてゐるぢやないか」

お八重は愉快げに笑ひ、

「マア親分、今度の芝居は大當りでしたね」

「乃公も一つ彼奴等を、トッチめてやらうと思つたが、先生一人でア、豫くやつて了つちやア、可哀さうにもなつて來た。此方はマア見遁してやらうかい」

「エ、さうなさいよ、目明しも顫へ上つてゐますア」

「其答だ、大掛の鐵の網が出るらしいぞ」

斯う言つてゐる中に、深見重左衛門は鐵の方に立出で、縁々入口に立てかけて十三貫五百目の鐵の網に手を懸けた。

「コリヤ同心、目明し共も能く聞けよ。其方等は存ぜぬ事とて磔れる此の鐵に觸る丶如く、我が睨れ家へ踏み込んだものであらう。然つて致した事なら、今日の處は許して遣はす……、全體此一室に籠つて居つたそれがしは、何の爲であつたか知つて居るか。先づそれを申聞かせた上、以來決して當家へ立入らんやうに、聯かまじないいをして見せてやるぞ」

大瀬道十郎は仕方がないから、目明しに默諾させて、

「ハヽツ、おまじない〳〵……之は何うも恐れ入りました」

「抑々當家に窮屈な思ひを致し居つたのは、全く當家の主人が義に強い人物であるに依つて、それがしも義に由つて、今日まで斯くして居つたのだ……、旗本青山主膳と申す者、私の遺恨に由り當家へ仇をなさうと致すにより、何とか青山を驚かせて、當家へ再び手出しをせぬ様に致したい……でなくば當方から、青山方へ斬り込むと申すから、よし〳〵然らば當分それがしが當家に食客となつてゐてやらう。世間へは怪しい浪人者がゐると言觸らせば、必ず青山めが驚いて探し居る小島三平と間違へて、手を入れさすだらうとは、之は此深見重左衛門の計略である。それにウマ〳〵引つ掛つたのが、青山主膳の一味で、其父手先に使はれたのが……コレ大瀬道十郎、氣の毒ながらお前ぢや、だが青山は當時町奉行でない。役目を笠にきる事が出來ないから、多分お前等は金でも貰つて、奉行酒井因幡守へは公然申出ずに當家へ踏入したのではないか、……何うだ驚いたか……ウワヽヽヽヽヘ」

道十郎は顫え上つた。

此時廊下に默を守いて立出た重左衛門、自慢の鐵棒振り太の網を掛出し、リウ〳〵と唸りを生じさせて振廻しながら、

「ソレおまじないだ。危ないぞ。危ないぞ、ソレ邪魔するな」

斯う言つて眼前から三十人許りを追出して了つた。

十一月十四日　舊十月廿七日
火曜　甲申　大安　收　翼宿

●一白の人　物事躊躇なく進むに善く大事も通過すべし　辰さ庚さ寅が吉
●二黒の人　眼前の私利を思はず遠き慮も無かる可らず　戌さ亥さ寅が吉
●三碧の人　謙遜辭讓を旨として上下の交り深ければ吉　未さ壬さ癸が吉
●四緑の人　充分に思慮分別せし積りにても明待に反す　辰さ壬さ癸か吉
●五黄の人　事物停滯し易き日氣に緩みを生ずる事勿れ　卯さ戊さ亥が吉
●六白の人　前途を思はゞ輕卒に事を企て離し熱慮肝要　甲さ未さ庚が吉
●七赤の人　希望のみ大にして實力之れは伴はぬ不安日　未さ辛さ寅が吉
●八白の人　實直に本業を守りて投機的の事を爲さぬが　吉乙さ亥さ丑が吉
●九紫の人　志望は遂げ計畫は成り大に發達する大吉日　丁さ壬さ癸が吉

大正九年十一月二十日第三種郵便物認可

新京日日新聞

發行所 新京日日新聞社

包圍隊形で總攻撃を開始

宋子文、愛國の匪賊團に 平田〇團愈よ勇躍

〔錦州十三日發國通〕宋子文、愛國の匪賊團を討伐すべく今朝來平田〇團中島部隊は五紋子より、菊池部隊は先橋子より、山崎部隊は平房店より、寺島部隊は乾溝鎭より包圍的隊形を整へ五家子に向つて總攻撃を開始した茲數ケ月中には匪賊は全滅するものと觀られてゐる

今や全く袋の鼠 平田、河原兩〇團の手で

〔錦州十三日發國通〕支那軍の討伐に遭つて熱河省に逃入した宋子文愛國を首領とする大刀會匪、紅槍會匪約千五百名は五家子(朝陽遼源間)一帶に集中したが我平田〇團の中島、菊池、山崎、寺島四部隊と河原〇團の三部隊は今朝來完全に之を包圍し袋の中の鼠の狀態に陷らしめた

議會を目睫に控へ 政友益々多難

黨內の內部異論が百出し 總裁の態度が重視

〔東京十三日發國通〕政友會は最近有志代議士連が頻りに會合して居るが政民聯繫すべしと爲すものもあれば政民の妥協は斷じて排撃すべしとなすもの

『時期』尙早なりとも唱へるものもあり、又一國一黨論を提唱して止まぬ者もあつて何等一致するところなく、果して政友會が全体として何れの方向に進むものなるか彼等自身にてさへ判定し得ざる情態である、更に松岡洋右氏は脫黨を決意したといはれ、又中島知久平氏が國家改造の私案を樹て之れが實行を黨首腦部に迫らんとしてゐる等、更に二三の巨頭は此際斷然超黨派的國家觀念に自覺むべしと高唱して居る等もあつて政友會の

『前途』は其の統制の點に於て益々多難なるを思はせるものがある、議會開會期日の近づきつつある折柄鈴木總裁が如何なる方策を講ぜんとするか注目されてゐる

久原案は全く實施不可能だ

松田民政幹事長談

〔東京十三日發國通〕久原案に對し民政黨の松田幹事長は左の如く語る

まるで夢の樣だ、政治、經濟、國防の三位一体は結構だが具体的方策は容易に行はれず國家に利益を獻するなどと云ふ事は欲深い事業界に出來はしない、國家が投資するとせば何處に金がある

傷病兵着連

〔大連十三日發國通〕傷病將兵金井一[illegible]下八十七名は渡邊一等軍醫以下に護られ十三日午前六時廿分大連着衞戍病院分院に入り同日午後四時出帆の照國丸で日本に歸還の筈である

資材整備費の削減には 陸軍當局絶對反對

〔東京十二日發國通〕大藏省では陸海軍の標準豫算と滿洲事件費を除き

一、一九三五、六の危局は主として海軍に關係し陸軍とは關係が薄い

一、我軍事工業の現狀よりせば一個年に一億八千萬圓といふ巨額は過大だとの見地から資材整備費に對しては相當の削減をなす模樣である、之に對し陸軍當局は一九三五、六の危局に於る陸海軍の輕重に差なし

一、從つて我が工業力の最大限度を以てしても資材整備は必要だ

一、この豫算が削減されるならば五相會議も無意味だと反對し、萬一大藏側が大削減を固守せば資材整備の既定年たる昭和九、十年度を限り臨時增稅案を定めて之を維持すべく形勢重大化してゐる

印度側の態度 なほ決定せぬ

どうしても妥協失敗の際は 新たに別案提議か

〔デリー十二日發國通〕印度側は前回の會議に提出された日本案に對し、餘程愼重に審議されて居るものの如く未だ

『何等』の通告も寄せない、從つて明十三日も多分本會議は無く若し印度の態度が決定すれば或は會議の圓滿なる進行を期するため再び私的協商が繰り返へされるかも知れないと觀られて居る綿布問題に就いて日本側の堅屈してゐる點は印棉凶作の場合棉花買付減少に應じて綿布の輸入量を減らされることである、よつて目下日本の强硬に主張してゐる案が何うしても容れられず

『妥協』の道無きに至つた場合には或は今迄と異つた全然新らしい法式が提案されそれに依つて解決の道を計らんとするに至るかも知れないと觀られて居る

日蘭市場協議開催を受諾す

先方の出方で急速に開會

〔東京十三日發國通〕過般オランダから我綿業者に提議された蘭領印度の日蘭間市場協定協議會は我外務省と同業者間に打合せの結果、開催受諾に決し既に齋藤公使を通じオランダ政府と當業者に對し回答を傳達し、ロンドン滯在中の我綿業者代表をしてオランダ政府と當業者に豫備交渉を開始させることとなつた、日本としては右協議會は現地事情に明らかでないオランダ本國で開くことを避け東京かバタビヤで開催の意向であるが代表選出は、我對蘭輸出綿布關係業者が紡績聯合會では鐘紡、日淸紡、東洋紡、豐田紡の四社、輸出同業會では伊藤忠其他一社に限られてゐる關係上、オランダ側の要望次第では急速に出現の筈である、尙オランダ側は右協議會で日本からの綿布輸出制限と共に砂糖過剩生產捌け口を日本に求めんとする意向を有してゐると云ふことである

喜多大佐歸る

〔奉天十三日發國通〕岡村參謀副長と同行北支に赴いてゐた關東軍參謀喜多大佐は十三日午後六時陸路山海關經由歸奉の筈

滿鐵改組その他重大問題を携げて

谷參事官いよく明日上京 警務機關も問題

谷參事官は廣田外相の招致によつて十五日午後四時半發列車で東上することとなつたがその目的は滿洲國の諸情勢を報告し、我が對滿政策に資すると共に更に現下の

『重要』問題たる滿鐵改組問題及び州外警務機關統一問題の二つに關し中央へ駐滿大使館の意見具申の爲めと觀られて居る、就中州外警務機關問題は今春來憲兵隊案、關東廳案を中心に審議が進められた結果日進月步の勢をもつて全滿に膨張する邦人保護のため大使館管下警察官は主として北滿、關東廳管下警察官は主として南滿に分散配置を了し既に警備の充實が期せられたが

『指揮』命令權の單一化を見るに至らず過般の小磯參謀長、田代憲兵司令官、谷參事官、大塚警務局長等の首腦者會議となつた、本會議の內容は嚴秘に附せられてゐるが仄聞するに軍部側の意向は州外六千の警察官は治外法權撤廢を前提として關東廳の手を離れ大使館の管下に置き、大使館に新たに警務部を設置し、憲兵司令官を以て警務部長を兼任せしむる、而して警務部は三位一体の軍司令官の下に

『警務』參謀部とし幕僚には軍憲兵隊、大使館、關東廳のエキスパートを網羅し、憲兵渾和せる有力且つ權威あるものたらしめ以て統一機關として機能を充分發揮せしむる案であつた、然し乍ら關東廳側では拓務當局の意向を參酌した上と留保し、確答に至らぬ模樣で本案の前途は未だ豫測し難き狀態にあるものの如くである、從つて谷參事官の今回の上京は本省への報告のみでなく陸軍及び拓務兩當局との重大打合せ用件が含むものと見られてゐる

滿鐵改組は吾々に任せよ

京城行の原田大佐語る

〔奉天十三日發國通〕關東軍參謀第三課長原田大佐は朝鮮總督府事務官、關東軍囑託堂本貞一氏と

『同道』十三日午後十時廿八分奉天發、同二時四十分發列車にて安奉線で京城に向つたが、奉天驛待合室に於て左の如く語つた

內地へ行くかつて?いや行かぬ京城迄だ、朝鮮總督府と在滿鮮人救濟問題等に就き協議する爲だ

と日本行きを否定し、滿鐵改組問題に言及するや

僕は何も知らぬよ、併し新聞は種々書き立ててゐるが要するに眞相を確めてゐないからあんなに騷ぐのだらう

『僕等』に任せてきや間違ひは無いよ、君等が勝手に心配事を作つてゐるんじやないか、まあ近い中に何とか解決するだらう

ナチス政權これで萬々歲

ヒットラーの豪語そのまゝ ドイツの總選擧

〔ベルリン十二日發國通〕ナチス政權に對するドイツ人民の信任を問ふ人民投票と國會議員の總選擧は十二日ドイツ全土に亘つて一齊に

『擧行』されたが午後九時半迄に判明したところでは既に有權者の九割以上が政府信任投票を行つたこと確實である即ち右時刻迄にヒットラーは明らかに三千萬餘のドイツ

『有權』者の支持を獲得したが、之を前回の總選擧に比較すれば前回ナチスの得た票數は一千七百萬に過ぎず今回は既に殆ど之に倍した票數を得た譯である此際特に注目すべきは三月五日の總選擧で社會黨並に共產黨に投票した一千二百萬の者が明らかにナチスに轉向したることこそだ、マルキシズムやボルシェビズムを根絕して見せると喝破したヒットラーの豪語がその儘實現したベルリン十二日午後十一時現在の開票結果左の如し

項目	票數
總選擧票	三五、三七七、九〇一票
ナチス得票	三三、五六三、五七五票
無效投票	一、七九四、三三六票
人民投票	三六、七八〇、二四一票
政府信任	四〇、三〇五、九九八票
政府不信任	一、一五七、〇三五票
無效投票	四一七、二〇八票

谷參事官の東上

谷參事官は十五日午後四時半新京發東上の豫定である

矢田公使 十四日來京

本日來京の豫定だつた矢田スイス公使は十四日午後三時二十五分着京國都ホテルに投宿の筈である

赤都モスクワでは航空萬能時代

〔シベリア沿線は大活氣溢る〕 六城中佐の土產話

〔滿洲里十二日發國通〕シベリアより歸國の途にある六城中佐は左の如く語つた

本年はシベリア鐵道の沿線は非常な活氣を呈してゐる目下モスクワには數百臺の飛行機が集中され居り、特に四個の發動機を有する超重爆撃機が多數飛翔して壯觀を極め航空萬能の情景を示してゐる

軍艦撃沈說は挑戰的の虛報

タス通信社が否定

〔モスクワ十二日發國通〕ソヴィエート政府機關紙タス通信社は、米國合同通信社ロンドン支局並びに日本某通信社が非公式にソヴィエート筋の報道として、去る三日日本軍飛行機九機中六機がソ滿國境に於てソヴィエート軍のために射落され、又日本軍艦二隻がカムチャツカ附近のソヴィエート領海で擊沈されたと報じたのを否定し、右は徹頭徹尾捏造であり明かに挑戰的性質の虛報だと發表した

米國がソ聯へ賣る防寒軍服

滿載船が大連寄港

〔大連十三日發國通〕リトヴィノフ氏とルーズベルト大統領の會商に就て米、ソ兩國の接近が傳へられてゐる折柄、米國よりソ聯邦に賣り込んだ防寒軍服數萬着を積載する米國の一汽船が近く大連に入港する事となり、當局は注意を拂つてゐる、右汽船は大連で淡水補給後ウラヂオに向ひ同地で積載軍服を陸揚げする豫定である

情報處面目一新か

國內治安の恢復、內政改善の著しい進捗を見た滿洲國は更に對外情勢に適應し對內狀態の安固と中外に對する國內各般事情の宣傳より效果的に强行するため現在の國務院情報處の組織と陣容を更新しこれを擴大、强化すべしとの議論が當局間に有力に提唱せられつつあるが右案は大体

一、現在新聞雜誌及その他の方法に依る國內事情の紹介並びに宣傳のみの組織を改廢し、前記以外に映畫、演劇、ラジオ、レコード圖畫に依る宣傳の外消極、積極の兩方面より統制、檢閱、保護獎勵、强制を行ひ、更に國營製作所並にその配給機關、上演機關を增設すること

二、右機關諮詢審議機關として社會各般の權威者を網羅し、これに民間團体の代表者を加へた最高委員會を附帶せしむること

等であるが一九三六年の對外的危機を控へ如何なることあるもこれを實現すべしと爲し目下愼重に研究され上京中の遠藤總務廳長が歸任すれば當然問題は具体化するものと觀られて居る

安東、大孤山間の就航汽船公司

日滿人の手で設立

〔安東十三日發國通〕從來安東、大孤山間は英國系の臺隆洋行の汽船に依つて運航されてゐたが、これに對抗すべく今回日滿人の手に依つて大安汽船公司なるものが設立されたが同公司は左記三氏の計畫に基く日滿合資會社で、既に十月十五日附で許可指令があり營業は明春解氷期を俟つて開始すべく目下極力準備中である

發起人代表

安東縣天午宮街 前熱河實業銀行頭取 王羽儀

安東縣六番通八ノ二 藤原泰一

新義州常盤町三 輪船公司主 多田榮吉

附屬地行政は全權府が掌握

主要都市には民政署を置く 關東廳立案の內容

〔大連十三日發國通〕日下內務局長は十二日午後四時二十分大連發新京に向つたが、關東廳立案滿洲全權府機構の內容は左の如きものである

長官の下に事務總長格の親任官を置き官房外務、內務、警務、財務、監督の七局を設け新設の監督局は滿鐵及び滿洲電信電話會社の如き特種會社の監督に當り、民政機關として大連に州廳を置き關東州の州官廳となし、州內民政署を支廳となし、滿鐵附屬地及び今後設定される委任經營鐵道附屬地の主要都市に民政署を新設し附屬地行政を全權府が掌握せんとするものである

軍事參議官其他親補式

十五日御擧行

〔東京十三日發國通〕來る十五日附を以て軍事參議官並に鎭守府司令長官、艦隊司令長官親補の御沙汰あらせられ、天皇陛下には同日午前九時半宮中鳳凰間に出御、齋藤首相侍立の上左の將官に對する親補式をけはせられる事となつた

聯合艦隊司令長官兼第一艦隊司令長官、海軍大將 小林躋造

橫須賀鎭守府司令長官 海軍大將 野村吉三郎

軍事參議官(各通)

第二艦隊司令長官 海軍中將 末次信正

補聯合艦隊司令長官兼第一艦隊司令長官 軍令部出仕、海軍中將 永野修身

補橫須賀鎭守府司令長官 軍令部次長、海軍中將 高橋三吉

補第二艦隊司令長官 軍令部出仕、海軍中將 米內光政

補佐世保鎭守府司令長官

中將進級確定者

〔東京十三日發國通〕荒木陸相は就任以來人事刷新に努めた結果、進級が早くなつたが爲めに古參者の淘汰が遲れてゐるおそれがあるので、師團長級の半分位は更迭せよとの極端論さへ陸軍部內に行はれて居り、本月初旬の定期異動は注目される、中將への進級は既報の通りであるが、尙經理局長主計監小野寺長治郎氏の主計總監への昇進も確實と觀られる

四平街 警官射擊大會

去る六日七日の兩日間に亘り四洮局警務課並に四平街警務局に於ては最初の長銃實彈射擊大會を四平街守備隊射擊場に於て盛大に實施されたが其の主なる成績は左の通りであつた

等級	點數	職	氏名
一等	三〇點	巡警	陳寶林
二等	二九同	巡長	焦毓仃
三等	二六同	巡警	劉化東
四等	二五同	同	王玉福
五同	二三同	同	陳樹藩
六同	二二同	同	孫傳璧

劍道無段者大會

來る十九日午後一時より四平街体育協會並有段者會主催の下に武道普及の目的を以つて四平街第二回劍道段外者優勝旗爭奪戰が滿鐵道場に於て開催されるが前回の優勝者警察軍に對し怨を呑んだ市軍は目下猛練習中である、尙當日は個人優勝戰も行ふと

ソ聯沿海州の石灰大開發に着手

〔ハルビン十二日發國通〕モスクワ來電によればソ聯政府は今回明年度より經費六十五萬七十ルーブルを投じて極東沿海州のハバロフスク、ブラゴエシチエンスク、ペトロパウロフスク、カムチャツカ方面に於る石灰の大々的開發に着手する事となつた

新舊鐵道事務所長挨拶

新京鐵道事務所長から本社鐵道部に榮轉の技師青木佐一氏後任の技師芳賀千代太氏は十三日更任挨拶に來社した

天氣と氣溫

けふの天氣豫報 北風晴一時曇

きのふの氣溫 最高 零下八分 最低 零下四度

御挨拶

拜啓私儀內地靜養中ハ格別ノ御配慮ニ預リ厚ク御禮申シ上ゲ候 御陰樣ニテ元氣恢復致シ昨夜ハトニテ歸任仕リ候間失禮ナガラ取急ギ紙上ニテ御挨拶申シ上ゲ候 敬具

十一月十三日

新京室町尋常高等小學校長 上原種豐

正隆支店で白晝怪盜騷ぎ

盆に載せた筈の八百圓也 いつの間にか半分拔取らる

白晝銀行に怪盜が現はれ出納係窓口で現金四百圓を巧みに拔取つた事件があつた十三日午後三時三十分ごろ市內東一條通十六番地天野商店こと「天野」常太郎氏方店員宮武清氏が店主に命ぜられ現金八百圓內、百圓紙幣四枚、十圓紙幣四十枚を日本橋通正隆銀行新京支店に預けるべく同行に行き金入れ盆に入れ出納係窓口に出したがいつの間にか現金四百圓十圓紙幣束が拔取られてゐるのに驚き右の旨銀行員に屆けるとゝもに同行では居合せたお客を行內に留め同時に扉を閉め直に新京署に屆出た同署から池水、井上、中本刑事が現場に「急行」實地檢證を行ふとゝもに居合せたお客を搜查したが遂に犯人を逮捕するにいたらなかつた

國都建設の偉業着々進行

政府關係豫定計畫

新興滿洲國の目覺ましい發展を如實に物語るものは國都新京の建設事業である、曾て國際列車を驚ぐ「滿鐵」線の最終驛としてのみ知られた長春が國都新京となり、僅々一年餘の短日月間に實現した建設の大事業は人間の有つ能力を極限大に發揮したものとして人類の建設史上偉大なる足跡を印したものと言ふことが出來る、而も此國都建設こそは滿日兩國の完全なる協力合作の結晶であり、機械力に偏重せず人的勞働の利用按配に成功した點に於て獨特の意義を持ちこれに參考する滿日鮮露諸氏族が吾等の國都建設の爲齊しく額に汗し滿腔の熱意と全能を竭して各自分擔の部署につき欣然として事業完成に努力しつゝあるは大同協和の「具現」であり王道精神の發露として特筆すべき事實である偖て過ぐる大同二年度に於て實行された主なる建設事業及來るべき大同三年度に於て行はれる政府關係の豫定事業を誌せば大体次の如くである

▲第四廳舍(國務院)起工大同二年四月、竣工大同四年十月工費二百萬圓

▲首都警察廳起工大同三年四月、竣工大同三年十一月工費四十萬圓

▲大同學院起工大同二年十月竣工大同三年六月工費十二萬圓

▲特任官々舍起工大同三年四月(最も必要に迫られたるものより着手年度內に完成の豫定)工費その他未詳、新廳舍二ケ大同三年中に完成の豫定工費その他未詳

營口驛經由船車連絡

貨物受付中止

滿鐵では本月十三日附を以て營口驛經由近海郵船、大連汽船及岡崎汽船の貨物輸送受附は特別の場合を除き當分の間取扱はない事になつたが、右は遼河結氷期直前の輸出貨物輻輳に因る連絡貨物の積殘し等を豫防するためである

女の街 ハルビン

滿人男子の激增で兩性割合逆轉

男百六十七對女百

(ハルピン十二日發國通)滿洲國唯一の國際的經濟の中心地、グレート・ハルピンの人口は八萬二千三百四十六家族四十六萬四千七百九十七名であるが、男子より女子の方が遙かに數に於て多いとされしゐたが、最近の調查によれば右數字は逆轉して男子が主位を占めてゐる、即ち男百六十七人に對し女百名の割合となつてゐる、こうした現象は最近各方面より續々とハルピンに入り込む滿人男子が激增する爲であるといふ

學校体育講習

公學校で開く

新京公學校において十三、四の兩日滿洲人學校体育講習會が開かれた、講師は主として滿鐵關係の体育指導の任に當つてゐる奉天敎育專門學校敎諭、奉天千代田小學校訓導齋藤氏で、受講者は國路總局九名、滿洲國小學校(新京市立)十名、公主嶺、四平街、新京各公學校七名、それに室町、西廣場各小學校から數名、都合三十名で十三日九時から十時まで講師の講話あり續いて正午まで實習、午後は四時まで實習があつた、十四日も九時から四時まで實習をなす

滿洲國法官の中國轉職策動

南京政府が頻りに

南京政府は本年七月頃より秘密裡に屢々連絡員を滿洲國に派遣し滿洲國司法官に對し「滿洲國に奉職する司法官を南京政府は高祿を以て任用する故速かに中國に轉職せよ」と慫慂、其後も引續き使者或は書翰を以つて滿洲國司法官の中國轉職方を促しつゝあり、一面滿洲國司法官と中國司法官との秘密提携を企圖し旺んに策動し、滿洲國司法官に動搖を與へつゝある模樣であるが去る十月二十四日中國官吏は滿洲國に就職運動と稱して天津より來奉、二十九日奉天某高官を訪問後黑龍江省某氏を訪問すると稱し十月末離奉北行、又十月二十八日新京某官吏は秘密裡に在奉司法官を訪問したる後卅日新京に向ひたる事實あり、之等朦朧中滿官吏の連絡は巧妙に行はれてゐるが、滿洲國當局は此種策動は別に効果なきものとして留意してゐない

元氣回復して上原室町校長歸る

職員も兒童達も大喜び

先月十日から轉地療養のため別府へ旅行中であつた、室町小學校長上原種豐氏は丁度一ケ月振りで十二日午後七時三十分着列車で元氣回復で歸任した、十三日出勤、書類の整理に忙しく、氏を訪問すれば次の樣に語つた「どうも長い間留守居さして頂いてお蔭でご覽の通り元氣になりました、內地の土を踏んだばかりで氣分が違ひます、歸つて職員や生徒が創立記念行事の準備に懸命になつてやつて下さつてゐる狀態を見て感謝と感激に堪へません、今後一ケ月分をとり返す覺悟で一生懸命やります」と

語學受驗者

汽車賃五割引

滿洲第十二回語學(露西亞語)檢定試驗受驗者に對して鐵道運賃割引往復乘車券を發賣する

一、割引區間　社線各驛から次項各驛行往復

一、割引期間

大連行　自十二月六日　至十二月七日

奉天行　自十二月八日　至十二月九日

新京行　自十二月十日　至十二月十一日

一、通用期間　通常往復乘車券通用期間に同じ

一、等級及び割引率　三等、五割引

一、取扱方　本割引往復乘車券は受驗地實業補習學校長(大連は學務課長)發行の證明書引換に發賣する

阿片密賣檢擧

市內室町二丁目二十三番地貸業王清雄(四〇)が阿片を密賣してゐるを新京署員が發見し十三日午後一時ごろ同家を襲ひ玉を檢擧するとゝもに生阿片一貫九百匁を押取した

これは驚いたり 飛行隊附將校

實はにせ者と判る

到る處で詐欺のかずく

山口縣生れ奉天住吉町五岩本幸太郎(二五)は去る八月九日現金二十圓を拐帶し無斷來京し市內東二條通五十九番地義兄松原造氏(假名)方で徒食中吉野町某おでん屋で中央銀行員有馬臺造氏と知合つたるを奇貨とし「自分」は奉天飛行隊附航空兵中尉岩本孝雄であると詐稱し全く中尉になりすまし、有馬氏を信用せしめ九月廿八日から十月九日迄有馬氏方に同居中市內中央通十一番地齒科醫清水信義氏を訪れ同樣手段で九圓五十錢の金齒を入れいま金を持つてゐないから俸給日まで待つて呉れと巧みに欺き、續いて九月中旬ごろ新京會館ダンスホールに行き同樣にダンサー須方好子さん、片山ちゑさんの兩孃を欺きチケツト三圓五十錢を「詐取」し續いて十月十一日有馬氏の名を使用し大連に赴き有馬氏の母堂季子さんから現金二百圓を詐取した足で聖德街二丁目豐年油坊會社支配人木村英一氏方を訪れ清水醫師の友人と僞り同氏の妻女から現金二百圓をまんまと詐取し新京吉野町河崎桃之助氏方に立廻つた處を去る十月二十日新京附屬地憲兵隊員に逮捕され取調の結果身柄を一件書類とゝもに十日新京總領事館檢事局に送致した

ハーモニカ演奏會

十五日午後七時から新京高等女學校講堂で世界的ハーモニスト佐藤時太郎氏外一名のハーモニカ演奏會が催される、プログラムは合奏行進曲双頭鷲、愉快な鍛冶屋、獨奏登校ホームスヰートホーム、春雨其の他十種類に及び入場無料である、因に主催は滿鐵新京社員俱樂部、新京地方事務所である

故上原元帥きのふ陸軍葬

青山齋場で行はる

(東京十三日發國通)全國民愛惜の裡に九日遂に薨去した故上原元帥の陸軍葬は十三日午前九時半大井町の元帥邸で渡邊葬儀委員長以下の手に依り嚴かな出棺祭を執行、十一時柩車は喪主七之助氏葬儀委員等廿臺の自動車に護られて自邸を發し、晴れ渡つた秋空の下を沿道の見送りを受け十一時四十分青山齋場着、午后一時告別式を開始、儀仗兵の整列砲兵の發する殷々たる弔砲の轟く裡に勅使及び　皇后　皇太后兩陛下御使の御拜あり、齋藤首相荒木陸相以下名士多數參列し午後三時滯りなく告別式を終了した、遺骸は荼毘に附された上、十四日青山墓地に埋葬される筈である

愛馬も參列

(東京十三日發國通)一代の武將上原元帥の陸軍葬は十三日正午青山齋場に於て嚴かに執行はれ、三陛下には特に勅使及び御使を御差遣あらせられ荒木陸相以下陸軍の將星、齋藤總理大臣以下各閣僚參列儀仗兵の警備に依つて正午葬儀開始、勅使の拜禮、閑院宮殿下の御弔辭、荒木陸軍大臣の弔辭あり一時半過ぎ儀式を了した此の日豫ねて元帥の遺言に依り愛馬「山東」が葬儀に列し最後の御奉公を爲した事は如何にも武將の最後を飾るに相應しく參列者一同の涙を唆つた

これは珍らしい物を言ふ犬

來る十六、七兩日高女で一般に無料公開

「物をいふ犬」で全國的に知られてゐるボチ孃を同伴して大阪の山下泰山氏がこのほど來京し、菱刈關東軍司令官を始め各方面を歷訪到るところ「なるほど」と感心された結果「在京」の愛犬家達が集つてボチ孃を中心に動物愛護の講演會を來る十六、十七兩日午後六時から新京高等女學校講堂で開くことゝなつた、當日はボチ孃の「物をいふ」實演をなし同伴者の山下氏が講演するとゝもに併せて活動寫眞も上映することになつてゐるが入場料を取らず公開されることになつてゐる、ボチ孃は名前はボチ子といひ英國產の白色ポインター、當年三歲の娘盛りで見るからに「可愛」いゝ犬である、山下氏に取つては眼の中に入れても痛くないほどの愛育振りで山下氏が「ボチ子」といへば「ハイ……」と答へ「お早う」「うまく頂戴」「おいやん」(おぢさんのこと)……等々大抵の言葉はいへるといふので犬界第一の人氣者である、兩三日前菱刈大將を訪れたところ大將はなかくの愛犬家だけに早速ボチ孃を相手にいろく問答して上機嫌だつたとはお伴役の山下氏の話である

陳寶深氏

執政師父來京

陳寶深氏には執政の御思召により十一日午後七時三十分着のハトにて來京驛頭には鄭國務總理を始め執政府よりは工藤中將其他大官の出迎ひを受け直ちに執政府に向つた陳氏はかつて執政の幼少より師父として仕へた篤行の士である寫眞はホームを歩む陳氏(前方鄭總理、總理の後を那マントを着せるが陳氏)

執行猶豫の海軍被告四名

一年振で愈よ出所

(横須賀十三日發國通)五・一五海軍被告に對する判決は十三日朝檢察官の上告放棄によつて愈よ確定したので同日午前九時毛利刑務所長は此の旨各被告に傳へると共に執行猶豫となつた伊藤、林、大庭、塚野の四名に對しては直ちに出所の用意を命じた、四名は出迎への福出、林兩辯護人、淺水特別辯護人、等と出所の打合せをした上、後に殘る同志達にも夫々訣別の挨拶を交し午前十一時一年余に亘る想ひ出の同刑務所を出所、家族及友人等に迎へられて直ちに東京に向つた

新暦出る

サラリーマンには?

街にもいよく新暦が賣り出されたが、サラリーマンが一番關心を持つ來年の日曜と祭日は?一月五日新年宴會の一日間をおいて七日が日曜、二月十一日の紀元節と四月二十九日の天長節は共に日曜日で休日を二日損する勘定、九月廿三日の日曜と二十四日秋季皇靈祭十一月三日の明治節と四日の日曜は共に二日續きの休みでサラリーマン喜ぶべしと云ふところ、十一月廿三日の新嘗祭一日おいて廿五日が日曜、十二月廿三日が日曜で一日おいて廿五日大正天皇祭となり、來年の暦は今年と同樣余り嬉しくもないが普通と云ふところ

平和の鐘樓敷地

標幟樹立式

既報、平和の鐘樓標幟樹立式は豫定の如く去る十一日午前十一時半鐘樓敷地なる復興隆滿北高台に於て盛大嚴肅裡に擧行された、先づ式は國旗掲揚、標幟安定、國歌齊唱にはじまり淨めの切火、久遠偈、唱題の後發願勸進主吉岡行辨師は平和の鐘樓建設發願勸進文を朗讀し續いて敷地決定の經過報告をなし渡水南新京驛長荒井禎演師、三宅修養團總務下德鄕軍副會長等の祝詞あり菩提樹靈盃に祝酒を酌み交し最後に大日本帝國、大滿洲國平和大鐘樓の萬歲を三唱して感激裡に式を閉ぢたが當日人煙稀薄の高台地に時ならぬ多數人の密集と大國旗掲揚を認めたる皇軍の飛行機三台飛來し低空に圓を描きつ地上の萬歲連呼に答ふるものゝ如く、やがて飛び去り行くを見送り會衆の感激一入深きものがあつた

居住消息

▲佐藤斌介氏(山口縣人)錦町三丁目十三番地松岡方へ

▲白瀧三郎氏(新潟縣人謠曲師)奉天から八島通二十番地へ

▲新保榮一氏(神奈川縣人)富士町二丁目十三番地へ

▲清水秀雄氏(山口縣人滿鐵社員)公主嶺から花園町二丁目三番地へ

▲角田正美氏(神奈川縣人)大連から八島通り二十八番地へ

▲中元政夫氏(廣島縣人)衛戍病院官舍牛駒方へ

▲安城保二氏(新潟縣人滿鐵社員)大連から中央通り二十四番地新宅方へ

轉居

▲身崎長藏氏錦町四丁目から同上へ

▲添田博文氏入船町三丁目五番地から新京郵便局裏獨身寮へ

▲庵前重雄氏八島通り五番地から錦町三丁目錦ビルへ

▲米村茂氏錦町四丁目十一番地ノ二から入船町三丁目十九番地へ

▲高橋一三氏永長路八號から東二條通り六十二番地へ

▲田口隆治氏吉野町二丁目十六番地から入船町四丁目九番地義村方へ

▲風間森治氏關東軍飛行第〇〇隊から大和通り四十二番地へ

▲田中茂氏錦町四丁目から住吉町二丁目二番地へ

資源調査に關し（三）

新京特兵事務主任　三橋康豊

要ご資源調査は重大なる使命を帶ぶるものでありまして、國家の産業に一層清新確實なる資料を與へ、一面各方面の調査ご緊密なる聯絡を保ち其の利用價値を增進するこ共に民間負擔の重複を除き彼此相俟つて社會一般を稗益する所大なるものがあります、來年度關東廳に於て實施する業態調査の如きも此の意味に於て平素調査事務に相當の實蹟を擧げつゝある管内二百になんなんごする各種工場は確實清新なる資料を迅速且つ機敏に提供し得るものご信ずるのであります

以下工場の工業、經營其他に就て參考迄に意見を述べて見たいご思ひます工業ごは原始的生産の提供する諸種の材料に物理的又は化學的の手段方法を加へて品質形態を改造する業務を總稱するものであつて自家使用の爲めに利用價値を增加しやうごする種々の加工も、營利の目的を以て交換價値を增加せんごする種々の加工も變改も共に工業であります。往昔狩獵、漁業、遊牧時代に於ける工業はおをむね自家用のために人小夫れ〳〵其の生産せる原料を加工するに過ぎざりしも一般智識、技術の發達ご共に分業の發達ごなり遂に獨立せる一定の人々の職業ごなり工業は獨立したのであります、今工業の變遷を大觀するに其の經濟的組織を準備ごして四大別するご次の如くであります

一、自家工業

工業の搖籃時代は自己の消費に供し又は一家の需要に充つる爲め自己の生産せる原料又は他より買入れたる材料に加工變造をなし、家庭手工業ご稱し例へば自家用の穀粉を製造し又は衣服を裁縫するが如く其の作業は自給自足を目的ごす

二、手工業

特殊技術又は作業設備を有する者が消費者の需要に應じ其の提供する原料に加工する事を營業ごするもの即ち大工が注文に應じ注文者の材料を以て家屋を建築し仕立屋が顧客の持參せる反物を裁ち一定の賃金を受けて衣類を縫ひ上ぐるが如く加工に使用する器具設備は工業者自身の所有に限らず注文者より提供するこごあるも主ごして工業者より勞役を提供して之に對して報酬を得るものご、工業者より勞役を提供し之に對して報酬を得るものご、工業者自身に其の經營上必要なる器具設備は勿論原料、補修材料等一切の資本を所有し加工賃の外に原料其他失費を償ひ且つ利益をも見込み相當の代金を以て直接に消費者に賣渡すもの、例へば他より仕入れた材料に加工して家具や建具又は農具等を製造し顧客の需用に應ずるものごがある

三、家具工業

一人の企業者が多數の手工業者を指揮監督し手工業を各々の自宅又は近傍の仕事場に於て生産に從事せしめ其の製造したるものを取纏めて大量に販賣し又は企業者が仕上ご販賣を引受けて經營するものにして例へば織物商店が地方幾多の綿布職工に注文して其の織物を一手に纏めて廣く各地に販賣するが如き、之が經營の方法に製造技術ごいふ點よりいへば前者ご同樣なるも販賣の方法に於て全く其の趣きを異にしてゐるのであります

四、工場工業

工場經營者が多數の勞働者を傭入して統一的指揮の下に其の勞力を提供せしめて加工製造に從事する經營法であつて機械の發明ご動用の應用は勞働を分立せしめ職能を有する勞働者即ち「職工」熟練を要せざる勞働者即ち「其他の從業者」ごいふやうに適材適所の配置ごなり勞働者の節約ご共に機械力は自ら擴大し大規模の生産が開始せられ、生産の市場は一地方より進んで全國更に世界に之を求むるに至りました

大歌舞伎の筋書と配役

初日藝題の其一

十五日長春座で初日の蓋をあける東西合同名題大歌舞伎の初日藝題は一番目七福神寶珠入船引ぬきだんまりこれは頗る大がゝりの絢爛目を奪ふ大舞台なので一番目ごさし替へることになつてゐるらしいが豫定の二番目は近江源氏先陣館盛綱首實驗の場、三番目は所作事舞衣三勝半七、四番目所作事紅葉狩ご確定したが、その筋ご配役を順次紹介するこごゝした（カツトは海老十郎の盛綱）

（一番目七福神寶珠入船常盤津長唄竹本連中出語り）見渡すかぎり青海原で風も靜かな海上に寶づくしの寶船が浮びゐる「四方の春風豐にて千里の外は見え渡り雲井の空に舞鶴のよもぎが島を眼のあたりかごろ霞の中よりも浮かれ出でたる神々の七つの福を銘々に積むや寶の船遊び」ご文句よろしく七福神君が代の萬々歳を振に添へ波のり舟の響のごごけく浮かれ〳〵てけにも目出たく舞ひおさめ、引ぬき宮島大暗爭ーは安藝の宮を遠くに見る大鳥居の前浮れ出たる大章魚が酒をのんで踊り出す、それにからんで船頭が「今年大漁また大漁舟は四挺櫓八挺櫓腕も男の若ざかり」ご面白く舞ふ内に章魚を引割つて白浪お仙があらはれ宮島の消具替わり大岩山ごなりこゝに金剛太郎出で來り皆々現はれ白旗のうばい合いになりごど金剛太郎の手に……向ひ大法二人絡み、雄々しき引込みその配役は

一辨才天　中山晃枝
一壽老人　嵐妻五郎
一大黒天　寶川延吾
一惠比壽三郎　嵐三昇
一比沙門天　尾上多三郎
一福祿人　大谷友二郎
一布袋　嵐公三郎
一大蛸ヒハ白浪お仙　中山延見子
一夜叉五郎　市川海老十郎
一舟頭浪三　尾上多見丸
一生駒若高　中村高三郎
一葛城三郎　市川荒市郎
一腰元梅ヶ枝　嵐三幸
一侍女玉笹　澤村いろは
一松風大膳　片岡松右エ門
一奴伊達手　中村信濃
一郎黨源内　嵐妻五郎
一郎黨左内　寶川延吾
一金剛太郎　嵐三五郎

〇二番目近江源氏先陣館盛綱首實驗の場竹本連中ー佐々木盛綱、佐々木高綱は兄弟なりしが互の主君の爲同より戰ひごなり盛綱の一子小三郎は初陣に高綱の一子小四郎を生捕り歸る、盛綱の主人北條時政は小四郎を忍ばに高綱を味方につけんごす高綱僞りて討死する、其首の實驗の段を盛綱は申付けらる、小四郎は父の首なりご自害して死す時政は實子の詞に高綱が死せし者ご喜ぶ、盛綱は僞首ご知りつゝせし心の不憫さに高綱の首なりご言上する時政は悦びかへる、後にて母や妻に此由を語り弟高綱の智謀に感ずる、和田兵衛秀盛は盛綱の陣中に忍び來り此場の樣子を見屆け、立歸らんごして、よろひびつの中の時政よりの御者榛谷十郎を討取り別れて歸る件……その配役は

一佐々木盛綱　市川海老十郎
一北條時政　中村信濃
一和田兵衛秀盛　片岡松右エ門
一竹ノ下孫八　尾上多三郎
一古郡新左エ門　嵐妻五郎
一母微妙　市川荒市郎
一妻早瀬　澤村いろは
一一子小三郎　嵐三蝶
一高綱妻篝火　尾上多見丸
一一子小四郎　嵐三丸
一山彥八郎　大谷友二郎
一篠内作内　嵐三升
一速見藤太　中村高三郎
一榛谷十郎　寶川延吾
一腰元千草　嵐三幸

皇軍慰問日記……〔九〕

新京兵士ホームから

九月廿六日

午前二時半眼覺し時計は吾々を起した

午前四時出發の六師團の凱旋兵をお見送りしなければならぬ暖かく体を包んで出たものゝ流石ブル〳〵ッさした

一寸先も見えない眞の暗闇、着け劍をした歩哨の兵隊さんが丸くなつて行きゝしてゐるこんな夜半にも絶えざる兵隊さんの努力に依り吾々は枕を高く休まれるのだなあご思ふご自然に頭がさがる

トラックで、雨上りの泥濘をゆられながら驛に出る

午前四時未だ暗い

都城二十三聯隊の凱旋兵の方が一個中隊がもう車中の人ごなつてゐた、溢ふれる許りの武勳數々を胸に納めて皆さんのお心はもう故郷の山野を馳け巡ぐつてゐる、皆でお腹一杯の聲を張りあけてお送りした、そろ〳〵東空が明るくなりそめた頃再びトラックで歸ホテルに戻つた、九時から滿鐵の輸送事務所を御慰問した長方形の煉瓦造の城壁にかこまれた街區は不規律でごこも不潔だ、家屋なごも皆古きたない、城外は寂しい北門外から直ぐ、蒙古人部落に連つてゐるさうだ

市の東南を大凌河が流れ四圍は山を以て續ぐらされて盆地を形成し大凌河を隔て鳳華山が高く聳えそち三基の喇嘛塔がその山丘に屹立してゐる、吾々の眼には初めて蒙古人らしい人々の行きゝがうつゝた先方も胡散臭さうな顔をして見てゐたが、こちらも妙な氣持で應酬した、長い着物をまごつた喇嘛僧だこの町は早天には黃塵がもう〳〵さして所謂名物の黃塵萬丈だが一朝雨でも降らうものなら泥濘脚を沒するご云ふ有樣だ、朝陽の憲兵隊を訪問してから兵站部に御禮により慰問の御手紙を差し上けてから衛戍病院に向つた

市内に高く三十五間あまりもあるご云ふ大塔が、二基立つてゐる元は三基あつたのださうだが內一個は崩壞したのださうだこの三基の塔の所以は三座塔ご云ふ地名が起つてゐるんださうだ、古い住民には三座塔ご云つた方が朝陽ご云ふよりはつきりするらしい衛戍病院ご云ふご吾々の頭には新京や奉天の衛戍病院の立派なのが先入主ごなつてゐるから、こゝでも大きな建物を予想してゐるが、ごころが意外も外丸でひごい支那家屋を改造した所だ、院長殿の御案内で病室を一々まわつて御慰問申し上げた、白衣の看護兵の方がいそがしさうに走りまわつてゐる

外科四名、內科十二名入院してゐられる、外科の兵隊は生々しい血の染つた顔面の繃帶から片眼だけを出してニッコリ笑つて禮を云はれる

外科病室では赤十字のマークをつけた白衣にくるまつて蒼いお顔した兵ゞが不ヨ自なをおこされて心からなる御禮の言葉を下さつたのには恐縮した、病院のまわりもきたない、板敷の上にアンペラを敷いてその固い〳〵上にゐられるのを見た時は淚をかくさずにはゐられなかつた、繃帶の片腕を撫してもう二、三日で戰地へ飛び出すごいきまいてゐる下士官の人もゐた

此處で慰問のブロマイド、繪葉書、手紙、等を差し上げて病院を出た「あんな所で淚をお見せしたりなごしてはいけないんですけれごあんまり、お氣毒なので淚落してしまひました」ご淚の顔をふいてゐる方もゐる、市中を步いてゐるご又トラックで二十三聯隊の凱旋兵ご十七聯隊朝陽駐在の川原部隊の交代先發隊の方々をお迎へだ

それから警察署に行く

こゝで隅然にも新京領事館警察署にお出でになつた中川警部殿にお會ひした、全く豫想だにしてゐなかつたので兩方共驚いた、日燒した中川警部殿は相變らず元氣がいゝ、新京にゐては彼の鳳凰山事件で決死亂麻的な活躍をして令名高い人だつた、それから二十三聯隊の七中隊を尋ねるご先方では吾々の來着を知つてゐられたので兵隊さんが整列して待つてゐられたのには少しばかり恐縮した

皆さんご御一緒にお茶をいただき余興ごなつた、こちらから詩吟をやるご非常に喜ばれ兵隊さんのかくし藝も飛び出し仲々の藝達者もゐて拍手哄笑があちらからもこちらからも湧き起る、橘さんが玲瓏玉をころがすやうなお聲で詩を吟ぜられるご皆耳を傾けて謹聽した

追分、浪花節、軍歌、安來節何でもござれで次から次へご出る「おけさ踊るなら萬里の長城でおどれ、踊りや、匪賊が影をけす」なご軍人らしい勇ましい歌詞のおけさが飛び出し、こうして即席演藝大會に時のたつのも忘れてゐる、晚は又都ホテルの人ごなり相も變らず同宿の兵隊ご大騷ぎをした、今まで人の前に立つて話も言ひきらんのに今日はまあさうした事か顔を赤かくして歌つた、午後十時ごろ步二三ゝ飯山大隊長の御染筆をして頂いた

戀の黒船往來

寺島柾史 作
布施長春 畫

第百七十五回

第二の純潔 (三)

堤を決した奔流のやうに足もとに渦を卷く水……。

窮地に陷り、青白いあきらめを知つた千代だが、意外な水音……いや。足もとから這ひ上つてくる奔流を、現實に身に感じて、さすがに狼狽した。

——破船!

そのつぶやきに、みづからおびえ、ごう……といふ物凄い水音を聞くまいとして兩の手で耳を押へたが、刻々足もとに水かさの増してくるのをたうてい避けるわけにいかない。しかも、船底は眞の闇。のがれる道は來た方一つだが、引返すことは、まさに飛んで火に入る夏の虫同様だ。と、いつて、ここにじつとしてゐることは、みづから死期をはやめるのみだ。

ごう……といふ水音はいよ／＼物すごく、ほん流は足もとに狂ひ千代の全身を呑もうと迫つてくる。

千代は、いまは、ぜいたくなあきらめに浸るほどの余裕さへなかつた。おそろしい生の執着におそはれ、奔流をかき分けて上り口の方へ逃げたが、いつのまにか只一ヶ處の上り口は無情にも千代の眼界から姿をかき消してゐた。運命の手は物くるほしく逃廻る千代の、その唯一の逃げ口をすら鎖してしまつたのだ。

——助けて!

千代は、おもはず最後の叫びを發した。いまは敵でも味方でもいい、死地から救ひあげてくれるものゝあつたら、誰の腕にだつてすがつたらう。

……助けて!

しかし、この恐ろしい船ていには、千代の悲痛を極むる哀叫に耳を傾ける何ものもない。

たゞ、ごう／＼といふ水音、そして足もとに狂ふほん流……。

しかも、その狂ほしい水は千代の足もとから次第に水かさを増し、やがて膝を沒し、腰に及び、刻一刻彼女の肉體を沒してゆく。

——助けて!

いまはのがれるみちを全く失つて、しだいに千代の胸に、最後の美しいあきらめがやつてきた。生と死を超越した、ほの白いあけぼののやうなあきらめ……。

死のう。こゝで空しく死んでいかう。それが、せめてもの慰めだつた。松前藩のために、父のために、そしてあの人のために……。

この船ていの暗闇で水浸りになつて死んでゆくことは自分の最後にのぞんでゐる第二の純潔のためにほかならない。

千代は、觀念した。破船と運命を共にするといふよりか、暗礁か海の怪異か……何もののためにか船ていを破られ、雄圖むなしく北海の海底へ沈んでゆくアレキサンデル號の斷末のくるしみの一足さきに、第二の純潔を保持したまゝ死んでゆくことの、なんと、うれしいかなしみであらうことか。

そこで、彼女は、そのまゝ狂ひ廻る水の中に靜かにすはつた。ほん流は胸を沒し、首すぢまでもひたした。

千代は、眼を瞑つた。現世の執着から解脱するときの、朗かな死の勝利だ。そのときとつぜん現實は、千代の死の勝利の淨念を意地わるく騷ぎ亂した。

ぐわん……といふ、强い、激しい物音が、千代のすぐ背後に起つたのだ。

※

物々相感の不思議!

煙草のヤニと蝮蛇(まむし)

タバコ好きの人一讀せよ

白髪染めの藥 で指などが黒く汚れた時、石鹸其他何で洗つても中々脱ちないが、蓚酸の稀薄液で洗つたらキレイに脱ちた、此様な化學藥の作用は、學理上分り切つて居るが、世の中には化學で分ならい不思議のことがある。

生の鮑の 肉をはがすに、貝殻へ少しも肉が付き殘らない様にとるのはむづかしいが、鮑の平たいものを貝と肉との間に入れると、パックリとキレイにとれる、實に奇妙である、漆で着けたものは、木地が缺けても離れないが、蟹のユデ汁の中へ入れて置いたら糊細工の如く容易く離れる、化學上その理由は分らないが、爭はれない事實である、所謂物々相感の妙は、現代科學を超越した不思議であつて、化學上その理由が分らないだけに化學藥の及びもつかぬ妙能があるのである。

科學上不可解の生物 と云はるゝ蝮蛇にも不思議なことが多い、蝮蛇は煙草のヤニほど嫌ひな物はない、ナメクヂの身體が鹽でとけてなくなるよりも、蝮蛇にはヤニが敵物である、蒸し蝮蛇の體精はヤニで消え、ヤニの毒は蝮蛇の體毒により消えると云ふ相殺的のものであらう、煙草の原産地たる

キユバ島の土人 の間には『煙草をのむなら蝮蛇を食つて煙草の毒を消せ、頭がよくなる』と云ふ言ひ傳へがあるさうである、煙草のニコチン毒は、腦神經系統を侵し、又血液を惡化するので、血管硬化、高血壓の如きも、煙草中毒が最多の原因であると言はれて居るから等閑にできないが、現に歐洲著名、文化藥の中に、蠻人の民間藥から發見されたものもあるから、實驗から生れた土人の言傳へは馬鹿にはならないと思ふ、なほ又

幾多の病原菌 に就いて試驗するに、あらゆる動物體へすぐ活着繁殖するが、蝮蛇の體質は、如何に頑強なる病原菌をも悉く驅逐して絶對に受付けないといふのも驚くべき不思議の一ッとせられてゐる、又鳥にも獸にも魚などにも、總て動物の體内にはよく寄生虫がゐるが、蝮蛇の體内ばかりには絶對て寄生虫を見ないといふ事實も不思議の一ッで、殊に蝮蛇の性慾の強さには驚くべきものがあつて蝮蛇の體中には、如何に抵抗力、驅逐力、生活力の勝ぐれた奇妙な強精分を充有するかを推論するに餘りがあるが、而もその成分は現代科學で未だ知ることができない、しかし世の眞劍なる實驗界に於て

蝮蛇の靈能奇驗 を言明する者は、誰も耳にせぬ人はないであらう、古來皇漢醫學に於ては、蝮蛇を貴重藥として取扱はれ、難治の病人が、名醫の秘かに用ひし蝮蛇藥で助かつたと云ふ様な傳説もよく語り傳へられて居るが、料理でも、さしみにツマを付けたり、いろ／＼の獻立取り合せをして、まづいものも美味くなり、味覺をよくし、榮養價も增し、消化を助ける様なもので、昔から皇漢醫學に於て蝮蛇を用ひるにも、蝮蛇一味では効力不完全なりとせられ、いろ／＼の草根木皮藥を配合する、その配合の妙が、新道の奥儀秘訣とせられて居ると云ふことは、現代に於ける皇漢醫界の大家も之れを口にされて居る。

近來世上に好評湧くが如き 養命酒は、信州鹽澤家三百年來の家傳秘法により、赤蝮蛇の活汁に高山藥草七種を合釀し、高山地帶の天然自然の氣候風土の中に、年經て深山靈酒に化し、全部キレイな色に澄んでアルコール分少なく、婦人子供にも好適して上等の葡萄酒よりも芳香美味、而も葡萄酒の如き平凡のものにあらず、天下一品の貴重名物である。